

平成30年度第1回史跡めぐり

学び舎の足利から厄除けの佐野へ

平成30年6月5日（火）実施

梅雨入り前の晴間で少し暑いくらいの天気の中、総勢46名で午前八時過ぎに出発。高速道路は渋滞もなく、蓮田SAで休憩を取り、一路足利へ

「足利学校」へ到着

自学自習の精神を今に伝える足利学校は、大正10年（1921）に国の史跡に指定された「日本最古の学校」です。江戸時代の建物と平成2年に江戸中期の姿に復元されました。



足利学校

歴史

創建については諸説あり、奈良時代の国学の遺制（いせい）説、平安時代の小野篁（おののたかむら）説、鎌倉時代の足利義兼（よしかね）の説があります。歴史が明らかになるのは室町時代の上杉憲実（のりざね）が書籍を寄進し、学校を再興したころからです。



復元された庭園

「鑿阿寺」へ

源姓足利氏二代目の足利義兼（あしかがよしかね）が、建久7年（1196年）に、邸内に持仏堂（じぶつどう）を建て、守り本尊として大日如来を祀ったのが始まりといわれています。足利氏の邸宅跡に建つお寺です。



鑿阿寺山門

住職のお話を本堂の中で聞きました。国宝指定時のいきさつなど面白おかしく話をされました。



本堂内で住職の話

昼食は「蓮岱館」で



暑い日でしたのでひと時の休憩

昼食後、「佐野厄除け大師」へ

春日岡山転法輪院惣宗官寺（かすがおかやまてんぼうりんいんそうしゅうかんにじ）といい。朱雀(すじゃく)天皇の944(天慶七)年3月、奈良の僧 宥尊(ゆうそん)上人が開いた寺で、最初は日本の仏教で最も古い南都六宗の法相宗に属していました。

徳川時代には御朱印五十石を拝領し、寺社奉行も置かれ、三代将軍家光公も参拝する等徳川幕府との縁故も深い。



徳川家の家紋が入った約十
万石の格式をもつ大名の大
門といわれており、総けやき
造りの堂々たる風格をほこ
る山門



境内には東照宮が
祀られています。



通常は通ることが
できない唐門。

最後は「田中正造旧宅」へ、

足尾銅山の鉱毒問題を天皇に直訴した田中正造の旧家を訪ねました。
旧家の道路を挟んだ反対側にはお墓もありました。



田中正造隠居所正面
父親のために建て、雑
貨所を営んでいた。



田中正造の墓
(佐野厄除け大師他にもお
墓があります)

帰りの道中も渋滞もなく予定時間より早く帰着しました。

